

（別紙）「医療的ケア児の状況調査」における医療的ケアの項目について

本調査における医療的ケアは以下の項目とします。

医療的ケア項目

①人工呼吸器の管理

自分で呼吸ができない、若しくは呼吸が弱い場合に装着する呼吸を補助する機械。気管カニューレに回路を接続するもののほか、口鼻マスクや鼻マスクなどに回路を接続するものがある。気管切開を行わず、夜間や睡眠時のみ口鼻マスクを使用するなど、24時間装着していない場合も含まれる。



（気管カニューレに回路接



（口鼻マスク）

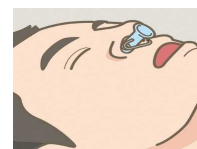
②気管切開の管理

肺に空気を送ったり、痰を吸引しやすくするために気管に穴を開けること。切開した気管には気管カニューレが挿入されている場合が多いが、気管カニューレが挿入されていない場合も該当となる。



③鼻咽頭エアウェイの管理

空気の通り道を作るために、鼻からのどまでやわらかいチューブ（鼻咽頭エアウェイ）を挿入している場合、該当となる。



④酸素療法

心臓や肺の病気が原因で、自分の呼吸では十分な酸素を取り込めない場合、日常的に酸素濃縮器や酸素ボンベを使って酸素を補うこと。鼻にカヌラをつけたり、マスクから酸素を吸入する方法があり、いずれの場合も該当となる。



（カヌラ）



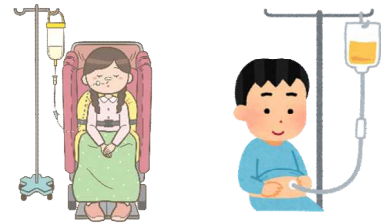
⑤吸引（口鼻腔・気管内吸引）

口、鼻、のどに溜まった唾液や痰を、カテーテルを使って取り出すこと。カテーテルは口や鼻から挿入するほか、気管切開をしている場合は、気管カニューレから挿入して吸引する。日常的に吸引が必要な場合に該当となる。



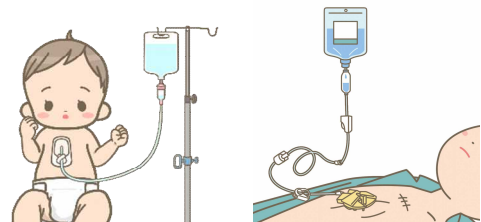
⑥経管栄養

鼻から胃や腸までカテーテルを挿入し、栄養剤や薬を注入すること。鼻からではなく、胃ろうや腸ろうから注入する場合も含まれる。



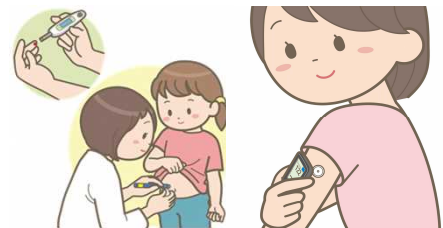
⑦中心静脈カテーテルの管理

心臓近くの太い血管にカテーテルを留置し、点滴で高濃度の栄養剤や持続的に薬を投与すること。



⑧血糖管理やインスリン注射

日常生活において、簡易血糖測定器を用いて血糖値を測定し血糖コントロールが必要な状態。また血糖値に応じてインスリンの注射が必要な場合もある。



⑨腹膜透析

腎臓の機能を補うために、自動腹膜透析機を使うなどして、腹腔内に透析液を注入し、血液中の余分な水分や老廃物を排出すること。

⑩導尿

自力での排尿が困難であり、尿道口からカテーテルを挿入し、人工的に尿を排出させること。介助が必要な場合のほか、自己導尿ができる場合も該当となる。

⑪人工肛門（ストーマ）の管理

お腹に穴を開け、腸の先端をその穴まで引き出してできた、人工的な肛門のこと。専用の袋を取り付け、便が溜まったらその都度、便を排出する。

